

(6ヶ月～)

子育てメモ



「いないいないばあ」って、  
なんで大切なの？

赤ちゃんは「いないいないばあ」が大好きですよ。

赤ちゃんにとって、「目に見えるもの＝あるもの」で、「視界から消えてしまうもの＝ないもの」と思ってしまおうのですが、生後6か月頃になると、いないいないばあという遊びをとおして、**隠されて見えなくなっても、それは必ずどこかにあるということを感じくようになる**のです。

「いないいない…」の間に顔が隠れて、次の瞬間には「ばあ！」と現れる。その瞬間を期待しながら待つことを楽しめるようになります。**いったん隠れた顔が期待通りに出てくる喜びと安心感を味わう中で、赤ちゃんに短期の記憶する力、予想する力、想像する力、期待する力が育ってくる**のです。

「いないいない…」と「ばあ！」の間の時間をいろいろと変えたり、色々な場所から「ばあ！」と出てきてみたりして、アレンジを加えてみましょう。そうすると、子どもから真似するようになるなど、**人に関わっていく力が育ってきます**よ。



『いないいないばあ あそび』  
作・絵：きむら ゆういち  
出版社：偕成社

ここで、ちょっと…

絵本を紹介

ページをめくるといろいろな動物さんがおでてで隠していた顔を「いないいないばあ！」。単純明快で月齢の小さいうちから楽しめます。シリーズで、おへんじや歯磨きの絵本もあるので、見てみてくださいね。